



たての としこ 館野 としこ 敏子 さん (関本上)

子どもたちが自立できる大人に成長できるよう、応援していきたいと思います。

## もう1つの家庭

# 「放課後児童クラブ」

### 子どもの健全な育成を目指して

## 放課後児童クラブの目的

ひと世代前は大家族が多く、地域のつながりも深く、子どもたちには安心して過ごせる場所がありました。しかし、時代は変化し、共働きの核家族化が進み、両親が留守のため、常に鍵を持たされる「かぎっ子」と呼ばれる子が増えていきました。かぎっ子対策として、小学校の余裕教室や施設を利用し、大人の見守りのもとで、安心して生活できる場を与えるため誕生したのが、厚生労働省管轄の「放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）」です。働く保護者のために子どもを預かるという点に重きが置かれていますが、学童クラブは次世代を担う子どもを、家

庭と共に心身を健全に成長させることを目的としています。

## 日々変化する子どもの表情

約22年前に創設された関城東小学校学童保育クラブを訪問し、石内智恵さんにお話を伺いました。

創設当時、先駆けだった「学童」は、約15人の在籍児童で試行錯誤しながら運営していました。現在は全学年で100人の在籍児童がいます。

「学校が終わった子どもを出迎えてから、保護者が迎えに来て、最後の子どもを無事に見送るまでは気が抜けません。子どもは学校、家庭、学童と違う顔を持っていて、学校では静かなのに、学童に来ると元気づいたり、家ではやらない手伝いをしてくれたり、その日によってもさまざまです。学校よりも制限が少なく自由が多くなる分、活発になり、けがの

### 関城東小学校 学童保育クラブ 1日の流れ



放課後に出迎える



宿題をする



おやつを食べて 自由時間

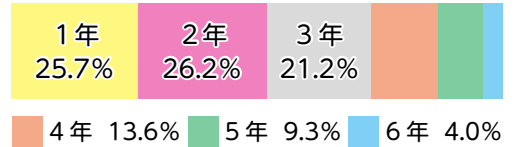


見送る

### 令和3年度筑西市

#### 放課後児童クラブ利用率 (%)

#### 【学年別】



#### 【地区別】



筑西市では、全児童の約3割が「学童クラブ」を利用しています。

危険性やトラブルも多くなってきました。みんなが安全に、安心して、気持ちよく学童を利用できるように、家庭でも話し合ってもらえるといいですね」と石内さん。子どもは、感情の変化が顔に出やすいので、常に子どもの表情を観察しているそうです。「日々大変なことが多いですが、子どもの成長を見た時、退所した子が学童に顔を見せてくれたり、学童外で会った時など、声をかけてくれたりした時はうれしいです。私たちの気持ち子どもに伝わっていたのだなと実感します」と笑顔で話してくれました。

## 取材を終えて

「学童があるから助かります」という保護者の声を聞いて、学童クラブの重要性がわかりました。人との関わりが少なくなっている昨今、協力することや思いやりなどの社会性を身につけ、遊びをとおして想像力を養うのに、異年齢での生活は大切だと感じました。大切な幼児・児童期に子ども自身が、自分は大切な存在だと自覚できるように育ててほしいと思います。



① 支援員と一緒に宿題をする子どもたち



②

① 支援員と一緒に宿題をする子どもたち

② 支援員の話をよく聞く子どもたち



③

③ 関城東小学校学童保育クラブについて話してくれる石内支援員